

川崎市立川崎病院  
シンボルツリー

# くすの木

平成26年6月16日発行（第21号） 発行責任者：柄崎 智 編集：広報委員会  
事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話044-233-5521  
<http://www.city.kawasaki.jp/35/35kawsyo/home/home.htm>

## 《川崎市病院事業管理者のあいさつ》

川崎市病院事業管理者 堀内 行雄

平成26年4月1日に、福田紀彦川崎市長から川崎市病院事業管理者を拝命いたしました堀内行雄です。武弘道先生、秋月哲史先生に次いで、3代目の病院事業管理者となりますが、先達が改革し築いた体制を守り、病院事業の更なる発展を目指す所存です。

私は、平成11年4月に市立川崎病院整形外科部長に就任し、その後、同院の副院長、病院長を務めるなど、市立病院に15年間勤務してまいりました。これまでは、医師として、あるいは病院の管理者として、良質な医療の提供に取り組んでまいりましたが、今後は川崎市病院事業管理者として、地域医療の発展と市民の生命と健康を守るため、3つの市立病院の管理運営を担う立場となります。

病院事業を取り巻く経営環境は、全国的な医師不足や診療技術の進展に伴う医療の高度化・複雑化への対応、あるいは消費税率の引き上げなど厳しい状況が続いています。また、国を挙げて将来の超高齢社会の到来を見据えた医療・介護の提供体制の見直しが進められており、医療面においては、病診連携をはじめとする外来機能の分化・連携はもとより、病院・病床機能の分化・連携や在宅復帰を推進するための取組もはじまっています。

そのため、市立病院におきましても、医療機関相互の分化・連携を図るための取組を推進し地域の医療資源の効率的な活用を図るとともに、超高齢社会を迎えるにあたり、増加する救急患者やがん患者等に対応した医療提供体制を構築し、地域の基幹病院、あるいは中核病院としての役割を果たしてまいりたいと考えています。

また、市立病院が公立病院として、市民に信頼され安全で安心な医療を安定的かつ継続的に提供できるよう、「医療の質と患者サービスの向上」と「強固な経営基盤の確立」に向け努力してまいりますので、御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。



# 食中毒に注意しましょう！

当院食養科では「治療の一環として、安全でおいしい食事の提供」を理念とし、厚生労働省から出されている大量調理施設衛生管理マニュアルをもとに日々の給食業務を行っています。そこで、当院での食事が提供されるまでの流れの紹介とともに家庭でも注意したいポイントをまとめてみました。

## 食事が提供されるまで

### ①食材の検収

品質・鮮度・品温・異物混入等のチェック



### ②食材の温度管理

肉や魚などは温度を測り、記録  
冷蔵庫、冷凍庫で適正な温度・在庫管理



### ③作業を開始する前に

手洗いは基本！丁寧に！  
蛇口等に手が触れない工夫

### ④食材の調理

肉・魚・野菜、加熱調理品はそれぞれ専用の包丁やまな板を使用



### ⑤調理品の温度管理

加熱調理品については中心部が90℃、90秒以上の加熱を確認し、時刻と共に記録



### ⑥皆さんのお手元へ

温冷配膳車で各病棟へお届け  
☆調理後は2時間以内の喫食としています☆

## 家庭でのポイント

①肉、魚、野菜などの生鮮食品は新鮮なものを購入しましょう。

②冷蔵、冷凍の必要な食品は、買い物から帰ったらすぐに冷蔵庫や冷凍庫にしましょう。

(詰め込みすぎや扉の開閉時間にも注意!)



③調理の前には手をよく洗いましょう。

④包丁やまな板はできるだけ肉・魚用と野菜用に分けて使おう。

難しい場合は肉や魚を切ったあと、生で食べる野菜などを切るときは良く洗い、熱湯をかけよう。



⑤加熱調理は中心までしっかり行いましょう。

⑥出来上がった料理はなるべく早く食べるようにして、室温のまま放置しないようにしましょう。

食中毒予防の三原則は

細菌を **つけない** **ふやさない** **やっつける** です。

細菌が原因の食中毒は夏場（6月～8月）に多く発生しています。

# 部門紹介

## 助産外来

昨年、当院では1000名以上の赤ちゃんが誕生しました。

当院では助産師の専門性を活かし、平成25年3月より助産外来を開設しております。助産外来とは助産師が行う妊婦健診のことです。助産師は正常に経過している妊婦さんを診察することができます。正常な妊娠経過をたどられ、合併症がなく産科的既往がない方で、ご希望の妊婦さんに、妊娠24週から妊婦検診と保健指導を行っています。医師との連携を図りながら、健診スケジュールに沿って診察にあたります。妊娠中の経過だけでなく、身体のこと、妊娠中の過ごし方、安産のポイント、お産への不安や医師にはなかなか話ができないことなど、超音波で赤ちゃんを見ながら、ゆっくり相談できる時間を設けております。ご家族の方も一緒に受けていただき、お話を聞いていただくこともできます。ご希望のある方、詳しく知りたい方は、当院のホームページをご覧ください。妊婦健診時に医師または助産師にお尋ねください。お待ちしております。



## 漢方外来を開設しました

平成26年5月19日から、漢方外来を開設しました。

「現代医学のなかで漢方治療をより良く生かす」を理念としています。最先端の医療と体全体に優しい漢方治療を同時に受けられます。個々の患者さんに最も適した伝統的な漢方薬による治療を行っています。西洋医学に加え漢方を専門に研修した医師が診察します。



診療医師  
吉野鉄大

- 胃腸障害（腹痛、下痢、便秘） 慢性肝炎
- アレルギー疾患（アトピー性皮膚炎、喘息、花粉症、蕁麻疹など）
- 不妊症、習慣性流産などの産科疾患
- 月経不順、月経痛、冷え症、更年期障害などの婦人科疾患
- 心身症、自律神経障害、神経症など
- 高齢者の老化に伴う種々の症状（前立腺肥大、しびれ、膝痛など）
- 高血圧、糖尿病など生活習慣病
- 風邪をひきやすい、おなかを痛がるなどの虚弱児童
- 癌や膠原病などに伴う様々な体の不調や体力低下

外来日は、  
月曜（午前）



完全予約制ですので、かかりつけ医療機関の紹介状をご持参ください

# AEDを知っていますか？



AEDは、自動体外式除細動器という器械で心臓のリズムを調べ、  
じよさいどう  
除細動（電気ショック）が必要かどうかを判断し、心臓の働きを

回復させるための器械です。誰でも、その場で、簡単に除細動を行うことができます。

## 《使い方》

- ①まずは、AEDの電源を入れます。（あとは音声の指示に従ってください）
- ②胸に直接、パッド（電極）を貼り付けます。（パッドには貼り付ける場所の絵がかかれています）
- ③器械が心臓の波形（心電図）を読み取ります。
- ④感電を防ぐために、自分も含め患者に誰も触っていないことを確認してください。
- ⑤『ショックが必要です』のメッセージが出たら、器械に従ってください。
- ⑥もう一度、誰も患者に触れていないことを確認します。
- ⑦そして、点滅するボタンを押すと除細動を行います。『勇気をだして！ボタンを押してください』

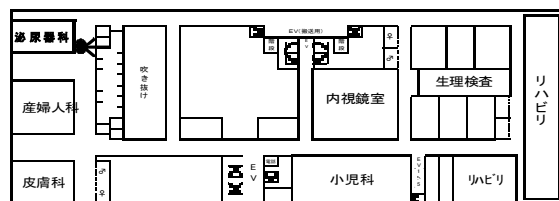
## 《除細動が完了しても》

- ①除細動後は再度、除細動が必要か、器械が判断します。
- ②再度『ショックが必要です』のメッセージが流れたら、もう一度、除細動を行ってください。

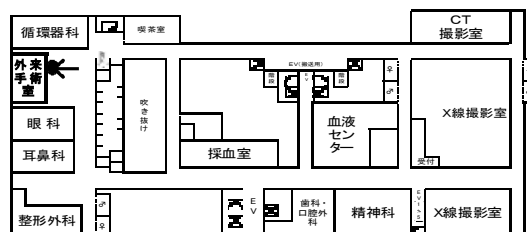
消防署では救命講習会を行っています。いざというとき、安全で効果的にAEDを使用するために、受講してみたいはかがでしょうか。

お問い合わせはお近くの消防署へ。

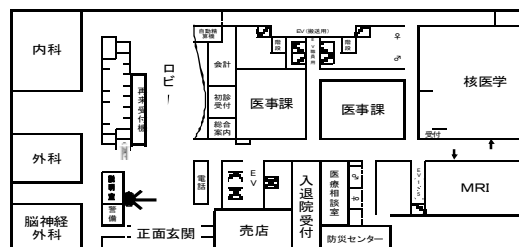
## AED設置場所（外来） 3F 泌尿器科前



## 2F 外来手術室前



## 1F 正面玄関横



## 臨時看護職員募集 看護師・助産師を募集中

川崎市立川崎病院では、臨時的任用看護職員（看護師・助産師）を募集しています。  
ご希望の方は、次の要領でお申し込みください。

- ① 職種 看護師・助産師（免許取得者）
- ② 勤務時間 勤務時間等はお相談に応じます
- ③ 勤務場所 川崎市立川崎病院
- ④ 休暇 期間・勤務時間に応じて有休あり

お申込み・お問合せ：  
看護部管理室へ直接お電話ください。  
☎(044)233-5521(代)

## 医師事務作業補助員募集

川崎市立川崎病院では、病院勤務医の負担軽減のため、事務を補助する臨時的任用医師事務作業補助員を募集しています。

お申込み・お問合せ：  
庶務課へ直接お電話ください。  
☎(044)233-5521(代)